

# 走行チェックシート

日付	2010年4月4日 (日)		時間	~	イベント	2010MFJ全日本ロードレース選手権シリーズRd1		
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 L0	ライダー	新庄雅浩		
コース	名称	筑波サーキット			気温	℃		
	コンディション	DRY			気圧	hpa		
	路面温度	℃ (計測時間 )			湿度	%		
エンジン	スパークプラグ	NGK R0045Q-10		エンジンOIL	シェルアドバンス			
	ファイナルレシオ	15 × 45(3.00)						
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.19	4th	B(31/21)	1.48		
	2nd	B(34/18)	1.89	5th	C(30/22)	1.36		
	3rd	B(36/22)	1.64	6th	C(32/25)	1.28		
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)		TEN	-15			
	スプリング	10.25	N/m	OIL	SR6 #5			
	自由長			油面	110	mm		
	イニシャル	10.5	mm	残ストローク	19	mm		
	COMP	-15		突き出し	STDトップブリッジで1mm突き戻し			
リア	パーツ名	SHOWA(321.5mm)		TEN	-15			
	スプリング	130.0	N/m	残ストローク	mm			
	自由長			リンク	STD			
	イニシャル	9.5	mm	リンクロッド	140	mm		
	COMP(HI)	+2		車高	STD+8mm ピボット-3mm スイング長606mm			
	COMP(LO)	-8						
タイヤ	フロント			リア				
	銘柄	ダンロップ		銘柄	ダンロップ			
	サイズ	125/80/16.5		サイズ	200/70R420			
	エア圧	2.1		エア圧	1.8			
チェック	順位	6		ベストラップ	57"327			
	水温	82	℃	油温	133	℃		
	ガソリン	IN	-	ℓ	走行距離	km		
		OUT	-	ℓ	燃費	km/ℓ		

## <コメント>

2010年全日本ロードレース選手権が開幕しました。

今年の日程は昨年と同様です。

今年から新庄雅浩君がJSB1000にステップアップしてシーズンを戦います。

新庄君はロードレースを始めた年齢は遅いのですが、もてぎ、筑波の地方選手権で活躍しました。

2008年から2009年に全日本選手権ST600クラスに参戦。

そして、今年からJSB1000クラスで活躍します。期待してください。

さてセッティングのほうですが、事前テストでのコーナー進入時リアの接地感が薄いようなので、スイングアームの対地角(タレ角)を大きくする方向へ。ショック長を長くし(316.5mm→321.5mm)、チェーンコマを増やし(590mm→606mm)、地面に対する角度は大きくなりました。

これにより進入時のリアタイヤを地面に押し付ける動きが車体姿勢で出せませす。

コーナー進入での接地感は出せましたがもう予選です。

57秒941で11番手です。今年はずり始めが遅かったので新庄君もまだJSB1000に慣れていません。

予選ですがタイヤを替える以外はずっと走りっぱなしです。

昨年も症状が出ていましたが、攻め込んでいくとフロントにチャタが出ます。この解決はダンロップさんと相談です。

翌日の決勝日ダンロップさんの協力もあり、攻めていけるフロント周りになりました。

予選でのリアのコメントは悪くありませんでしたが、立ち上がりでのリアの動きを少なく出来ればと思い、朝フリー前にちょこっと作業です。

ピボット位置を3mm下げ車高を3mmUP、対地角はほぼ同じで、変化を出します。

プレーキが握れるようになったので、安心して突っ込んでいけます。決勝は車体はこのままでスタートします。

いよいよスタート。決勝は筑波特有の波乱も無く新庄君はセカンドグループの後方に落ち着きました。

周を重ねるごとに前へ追いつき、一人ずつかわって集団の先頭に。そしてチェッカー！。

結果は6位入賞。開幕戦の地元で結果を残すことが出来ました。

さすがに決勝前は緊張していたようですが、皆様の応援の声が力になったようです。

次回鈴鹿はもっと進化した新庄雅浩を見られると思います。

今年一年応援宜しくお願いします。

レーシングサプライ  
畑中 健太郎